

令和7年度第2回（第6回）八潮市学校給食審議会開催結果について

令和7年6月27日（金）に開催した令和7年度第2回（第6回）八潮市学校給食審議会の開催結果の概要は次のとおり。

1. 開催日時 令和7年6月27日（金）午後3時15分～午後3時58分まで
2. 開催場所 市役所2階保健指導室
3. 出席者 委員14名（欠席1名）
4. 傍聴者 9名
5. 会議内容

議事（1）答申について

- ・答申（案）に沿って事務局から説明

○主な説明内容「答申（案）について、各委員からの意見について」

- ・諮問事項2の「温かくおいしい副食の提供」となっているが、主食と副食をバランス良く組み合わせることにより良い給食になるため、「温かくおいしい給食の提供」に変更した方が良いのではないかとのご意見があった。
すでに教育委員会が諮問した内容のため、諮問内容の変更はできないが、答申案の文言として「副食」でなく「給食」という表現としている。
⇒答申（案）の修正なし
- ・本日、欠席の委員からは事前に意見を伺ったが「特に意見なし」との回答であった。
- ・事前に答申素案について、委員の皆様からご意見を伺ったが、他の意見や今後の公設給食センターを整備する上での期待や要望があったらお伺いしたい。

【委員からの質疑等】

委員：この審議会で各委員がよりよい給食にしていこうとの思いを感じることができた。なるべく早く、公設給食センターから給食を提供してほしい。

委員：広報に食育月間の記事があったが、食べることは生きていくためにとても大切なものだと思う。健全な食生活を実践できるよう、食育により一層、力を入れてもらいたい。答申案にもあるが、食に関する知識と食を選択する力、食べることの大切さを食育の話題と合わせながら学校だけでなく、家庭や地域においても給食の魅力を発信してほしいと思う。また、統計的に野菜摂取量が大人も子どもも足りていないので、野菜に親しみながらおいしく食べられるように給食献立の工夫をお願いしたいと思う。

委員：今の給食のおかずが盛り付けてある方法はスムーズに配膳できていると思うが、諮問事項２にある「温かいものは温かく」という観点から見ると、おかずは常温になっているという声がある。適温給食にするのは、容器の工夫で実現できると思う。給食が少し冷たい、フライが少しかたい等の声を子どもたちから聞くことがある。児童生徒がわくわくしたり、笑顔になるような給食を提供できる施設を作っていただきたい。教室の中でも給食の良い内容の会話が増えると家庭にも会話を持ち帰ることになるので、食育にもつながると思う。そのような期待感を持たせる給食施設をなるべく早く作ってほしい。

委員：給食センターのこれからの運営と建設予算、この先の運営が給食費だけでやっていけるのかが疑問に感じる。また、地元のものを使用するとの話があるが、収穫が難しいことや値段が高騰しているため、様々な食品会社では、輸入品を使っていることもある。食材についても今後、検討した方がよい。金銭的な観点から運営面の問題も考えていく必要がある。

委員：諮問事項２の８つの事項にある、「新たな調理システム等の導入」とは、小学校と中学校の献立が異なる想定という意味のシステムなのか、他にどんなものを想定しているのか教えていただきたい。

公設給食センターが出来ることは八潮市民、学校や地域の願いだと思うので、それが実現すると思うとうれしい気持ちでいっぱいである。八潮市独自の特色のある給食センターが出来ると良いと思うし、子どもたちが毎日楽しみにできるような給食を提供できるセンターが実現することを願っている。

⇒事務局

新たな調理システム等については基本計画で詳しく決めていきたいと思うが、例えば、地場産の野菜を活用する際に、かなり泥を落とす必要があるため、より洗浄力の高いシステムを導入する等、様々な調理方法がある中で、給食をよりおいしくできるような調理システムを導入したいと考えている。

委員：諮問事項１の「各種リスクを考慮した」というところで、特にハサップの考え方に対応した衛生管理の徹底について、食中毒を発生させない徹底した衛生管理ができる施設につながっていくと思う。この審議会では、「二度と食中毒を起こさない」ということを皆さんで議論して、高い意識で共有できたことがすごく良かった。食中毒は、規模は違うが例年、頻繁に発生している。原因をみると衛生管理の甘さや考え方の甘さで起きているので、給食審議会の議論の段階でしっかり共有できたことは良かった。

会長：修正が無ければ、こちらの答申案で固めたいと思うがいかがか。

⇒全委員、了承

会長：答申案の（案）を消していただくようお願いしたい。

計6回にわたり、委員の皆さんのそれぞれの立場から子どもたちへの熱い気持ちをもって、たくさんのご意見を出していただき、本日成案としてまとめることができた。私たち全員の気持ちとして、一刻も早く子どもたちが待ち望んでいる安全・安心なおいしい給食が実現できることを切に希望している。

○会長より、答申の全文を読み上げた後に教育長に答申を手交した。